

野菜花き 9月上旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 9月3日、4日、8日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害では、8月下旬に引き続きCMVの感染株がみられた。輪紋病の発生もみられ、発病株率は平年と比べやや高かった。虫害では、全調査株でハダニ類の寄生がみられた。また、アザミウマ類の寄生、オオタバコガの被害果もみられ、いずれも平年と比べやや高かった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、着果中であった。病害では、すすかび病の発病株率が高かった（図1）。虫害では、オンシツコナジラミの寄生株率が平年と比べやや高かった。



葉表



葉裏

図1 トマトすすかび病（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、施設を移動し、収穫中であった。病害では、うどんこ病、べと病（図2）の発生がみられたが、発病株率は低く、平年並の発生であった。虫害では、オンシツコナジラミの寄生がみられ、寄生株率は平年と比べやや高かった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害では、褐斑病の発生がみられ、発病株率は平年と比べ高かった。べと病の発生もみられたが、わずかであった。虫害では、アザミウマ類、ハダニ類の寄生がみられたが、寄生株率は低かった。



図2 キュウリべと病（長野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、着果期であった。アザミウマ類の寄生がみられたが、寄生花率は低かった。病害の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は、生育期（7葉期）であった。チョウ目害虫の被害がみられたが被害株率は低かった。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（8～9葉期）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は、結球期であった。病害では、株腐病の発生がわずかにみられた。虫害では、ウワバ類等チョウ目害虫の被害株がみられ、被害株率は平年と比べやや高かった。

長野市の巡回ほ場は、結球始期であった。チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率は平年と比べやや高かった。病害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。病害では、黒斑細菌病の発生がみられ、発病株率は平年と比べ高か

った。虫害では、チョウ目害虫の被害株がみられたが、被害株率は低かった。

御代田町の巡回ほ場は、花蕾肥大期であった。病害では、黒腐病の発生がわずかにみられた。虫害では、コナガ、ウワバ類等チョウ目害虫の被害株がみられ、被害株率は平年と比べやや高かった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、生育期（14～15葉期）であった。チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率は平年と比べ高かった。病害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、生育期（9葉期）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

小海町の巡回ほ場は、生育期（8～9葉期）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。病害では、べと病の発生がみられたが、わずかであった。虫害では、チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率は平年と比べやや高かった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は、結球期であった。病虫害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、生育期（9葉期）であった。すそ枯病の発生がみられ、発病株率は平年と比べやや高かった。虫害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球始期であった。すそ枯病の発生がみられ、発病株率は平年と比べやや高かった。虫害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、結球期であった。斑点細菌病の発生がみられ、発病株率は平年と比べやや高かった。すそ枯病の発生もみられたが、わずかであった。虫害の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎繁茂期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は同時期の平年値と比べかなり高かった。虫害では、アザミウマ類の寄生株率が100%と高かった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎繁茂期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は同時期の平年値と比べ高かった。虫害では、アザミウマ類、ハダニ類の寄生がみられたが、寄生株率は低かった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎繁茂期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は同時期の平年値と比べほぼ同等であった。虫害では、アザミウマ類の寄生がみられ、寄生株率は100%と高かった。また、ハダニ類の寄生もみられたが、わずかであった。

9 ながいも

長野市のながいもは、生育期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

10 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、隣に移動し、破蕾期であった。病虫害の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 9月4日、5日、8日、9日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・抑制栽培）は、収穫中であった。病虫害の発生はみられなかった。

2 きゅうり

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。茎葉にワタヘリクロノメイガ（少発生）の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場（施設・抑制栽培）は、収穫中であった。葉および花にアザミウマ類、アブラムシ類およびワタヘリクロノメイガ（多発生、少発生、少発生）の寄生がみられ（図3）、いずれも前回調査時より密度が上がっていた。病害の発生はみられなかった。



図3 きゅうりのワタヘリクロノメイガ
（松本市）

3 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、生育初期（前回から場所移動）であった。病虫害の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、結球期であった。結球部および外葉にコナガ、ウワバ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。病害では、軟腐病（少発生）による株の枯死がみられた。

茅野市の巡回ほ場は、結球期であった。葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられたが、薬剤散布等により前回調査時より密度が低下していた。病害の発生はみられなかった。

4 はくさい

木祖村の巡回ほ場は、生育初期（前回から場所移動）であった。病害虫の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、結球期であった。虫害はみられなかったが、病害では軟腐病（少発生）による株の枯死がわずかにみられた。

5 レタス

塩尻市の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、生育期（5～6葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

6 アスパラガス

豊丘村（雨除け栽培）の巡回ほ場は、茎葉繁茂期であった。払落しによりアザミウマ類、アブラムシ類およびハダニ類（少発生、少発生、多発生）の寄生がみられ、特にハダニ類は若茎にも蔓延するほど多発状態となっていた（図4）。病害では、茎枯病（少発生）の発生がみられた。

飯島町（雨除け栽培）の巡回ほ場は、立茎繁茂期であった。払落しによりアザミウマ類およびハダニ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。病害では、茎枯病（中発生）の発生がみられた。

池田町（露地栽培）の巡回ほ場は、茎葉繁茂期であった。払落しによりアザミウマ類およびアブラムシ類（中発生、少発生）の寄生がみられたほか、新たにハダニ類（少発生）も発生していた。病害では、茎枯病（多発生）の発生がみられ、多発状態であった。



図4 アスパラガスのハダニ類（豊丘村）

7 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉8.5～9.0葉であった。虫害では、アザミウマ類およびネギハモグリバエ（いずれも多発生）の寄生がみられたほか、ネギコガ（少発生）による食害もみられた。病害では、黒斑病（多発生）の発生がみられ、前回調査時よりも密度が上がっていた。

山形村の巡回ほ場は、本葉8.5～9.0葉であった。南箕輪村同様、アザミウマ類、ネギハモグリバエ（いずれも多発生）およびネギコガ（少発生）の寄生がみられたほか、黒斑病（多発生）の発生がみられた。

8 ながいも

山形村の巡回ほ場は、生育期であった。病害虫の発生はみられなかった。

9 きく

富士見町の巡回ほ場は、収穫が終了していた。